



# 共生社会システム学会ニュースレター

## The Association for Kyosei Studies News letter

2022年5月2日発行 第28号

### 目 次

1. 2022年大会（東京大学）の開催について（第2報）	2
2. 運営委員会の議事概要の報告	3
3. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ	5
4. 運営委員会事務局だより	5
5. 会費納入のお願い	5

## 1. 2022年度大会（東京大学）の開催について（第2報）

2022年度大会（東京大学）を、以下の要領で開催いたします。本年も、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本年度もオンラインで実施します。懇親会はありません。

会員各位の積極的な参加をお願いします。

- ・日程：2022年9月17日（土曜日）
- ・会場：東京大学農学部＋オンライン

#### ・プログラム

午前中 一般報告，会員企画ワークショップ

12:00～14:00 理事会・総会

14:00～17:50 シンポジウム

- ・シンポジウムのテーマ「変質する資本主義と共生社会形成の担い手」（仮題）  
—食料・農業問題の位相変化と地域再生への課題—（仮題・検討中）

#### 第1報告

（仮題）変質する現代資本主義の行方—構造変化と環境・資源・格差問題の動向（40分）

報告者：諸富徹（京都大学）※オンラインでの参加

コメンテーター：市原あかね（金沢大学）

#### 第2報告

（仮題）食料・農業政策の基調変化と食料安全保障の行方（40分）

報告者：磯田宏（九州大学）

コメンテーター：秋山満（宇都宮大学）

### 第3報告

（仮題）共生社会システムに向けた「担い手」の広がりとの学びの連携（40分）

報告者： 田中夏子（長野県高齢者生活協同組合理事長・協同総合研究所理事）

コメンテーター：武谷嘉之

#### ・個別報告・会員企画ワークショップの募集

大会での一般報告および会員企画ワークショップを募集いたします。一般報告及び会員企画ワークショップを希望される会員は、学会ホームページの「2022年大会」ページより「報告の募集について」を参照し、a)個別報告申請書 と b)報告要旨を作成し、**6月30日（木曜日）**までにご提出下さい。筆頭報告者が会員であるなど、受付のための要件を確認した上、認められた報告につきましては、c)報告内容資料（様式自由）を、9月10日（土）までにご提出いただきます。

#### （概要）

○個別報告（一般報告）、会員企画WSとも9月17日（土）午前にZoomによるオンライン形式での開催を予定しています。

○個別報告（一般報告）を希望される方は、6月末までに報告申請書と報告要旨をご提出ください。また、9月10日（土）までに報告内容資料（様式任意）をご提出ください。

○企画WS開催を希望される場合、代表者は6月末までに開催申請書と企画趣旨をご提出ください。また、9月10日（土）までに報告内容資料（様式任意）をご提出ください。

○上記の個別報告要旨、WS企画趣旨、および報告内容資料は、事前に大会ホームページ上で公開します。

学会ウェブサイト：<https://www.kyosei-gakkai.jp/>

提出先：大会実行委員（個別報告・会員企画ワークショップ担当）

桑原孝史 takashik☆nvl.ac.jp （☆を@に変更して送ってください）

締切：2022年6月30日（木曜日）

---

## 2. 2021年度第5回運営委員会 議事概要の報告

### 1. 入退会について

入会2名，退会5名を承認した。

### 2. 会員の状況について

かねてより検討されている会費滞納会員の扱いについて審議し、既に連絡が取れない学生会員については除籍することとした。なお、これまでは未納会員にも3年は学会誌を送付していたが、今後は未納期間2年で学会誌送付をやめる方向で検討を進める。

### 3. 学会体制の整備について

3月に実施した理事アンケートの結果について意見交換した。理事アンケートの中で提案されていた学会賞創設について、本学会の学際的な性格を考えると、現時点では公平な学会

賞選考の基準を見出しがたいこと、現時点では学会誌に掲載される論文がそれほど多くないので、その中から学会賞を選ぶことが難しいことが指摘され、ただちに学会賞を設立することは難しく、継続して検討する課題とした。

また、大会とは別な時期に研究集会を開催するなど、会員の発表機会を増やすことを検討する。将来的には学会誌の年2回発行を目指す。日本学術会議との連携について、「共生」に関わる他の学会との協力を積極的に進める。

#### 4. 編集委員会関係

第16巻の編集状況について報告された。

投稿規定について、投稿論文が満たすべき条件をより明確に記載することとした。

#### 5. 15周年記念事業委員会関係

学会誌第16巻に掲載する15周年記念大会のシンポジウムに関する論文の進捗状況が報告された。

#### 6. その他

次回運営委員会の予定は5月15日（日曜日）13時とした。

---

### 3. 『共生社会システム研究』編集委員会からのお知らせ

『共生社会システム研究』第16巻は、2022年9月の発行を目指して論文審査・編集を進めています。学会15周年記念企画の第3回目として、記念シンポジウムに基づく論考を掲載します。

『共生社会システム研究』第17巻への投稿原稿を募集します。ふるってご投稿下さい。締切日は2022年11月1日（火）です。締切日を超えた投稿については、原則、次巻（第18巻）掲載の原稿として取り扱いますので、あらかじめご承知おき下さい。

投稿にあたっては、指定のフォーマットを使って原稿を作成していただきます。このことを含め、当学会ウェブサイトに掲載された投稿規定、執筆要領をよく読んで原稿を作成し、投稿してください。なお、4月に投稿規程を改訂し、投稿原稿についての説明を加えてありますので、ご投稿の際には必ずご確認下さい。

原稿の送り先：

東京農工大学工学部知能情報システム工学科

『共生社会システム研究』編集委員長 岡野一郎

E-mail: i-okano☆cc.tuat.ac.jp（☆を@に変えて送信してください）

---

### 4. 運営委員会事務局だより

今後、会員が執筆・翻訳（分担を含む）した著書又は公表論文（査読付き）等を、メール等にて会員全員に紹介していくことにしました（1か月に1回程度を予定しています）。

著書・公表論文等の紹介を希望される会員は、紹介文（自著自薦文）を1000字以内にまとめ、事務局（inamura☆angel.ocn.ne.jp）または運営委員長（halla☆cc.tuat.ac.jp）までお申し出

ください。その際に、著者（编者・訳者，分担者等），タイトル，出版社，価格，出版社や掲載のウェブサイトもお知らせください。

ただし，紹介する著書・公表論文等の内容について，学会として推薦・保証・承認等をするものではありません。

紹介文（自著自薦文）は，会員からいただいたものを原則そのまま掲載しています。

その他，会員の皆様からのニュースレター原稿を募集しております。会員の活動紹介等も歓迎いたします。投稿は吉田 (HALLA☆cc.tuat.ac.jp)までお送りください。（☆を@に変えて送信してください）

---

## 5. 会費納入のお願い

運営委員会事務局でもお願いした通り，2021年度会費の納入をお願いいたします。会費は，一般会員 6,000 円，学生会員 3,000 円，賛助会員 20,000 円となっております。2019年度以前の会費を未納の方は，未納分も含めて納入をお願いいたします。

共生社会システム学会ニュースレター 第28号 2022年5月2日発行 編集・発行 共生社会システム学会運営委員会事務局 連絡先 〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学研究院 吉田 央研究室 気付 TEL: 042-367-5588 E-Mail: HALLA@cc.tuat.ac.jp 郵便振替 00130-6-372850 (加入者名) 共生社会システム学会
---